

第5期
株主通信

2026年6月発行

GE市場での継続的な成長を見据え、
増産態勢を整備

工場への設備投資と人材育成を行い、
医薬品の供給不足解消と事業成長を目指します。

代表取締役会長兼社長(グループCEO兼グループCOO)

澤井光郎



株主の皆さまへ

Q1 2025年度を振り返って、総括をお願いします。

2025年12月に発売した新製品の順調な拡大に加え、2024年10月に導入された選定療養制度を追い風に、売上は過去最高の2,017億円となりました。足元では、ジェネリック医薬品への置き換え率は90%程度に上昇し、多くの引き合いをいただいています。

一方、生産数は183億錠の期初計画を達成することができませんでした。引き続き、ラインの立ち上げと生産性改善に向けた取り組みを推進します。

Q2 2026年度の取り組みについて教えてください。

第二九州工場新棟とトラストファーマテックでの新製品製造、および品目移管を進め、生産数拡大を目指します。

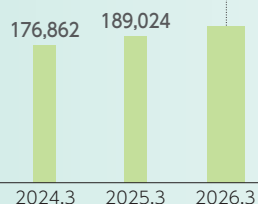
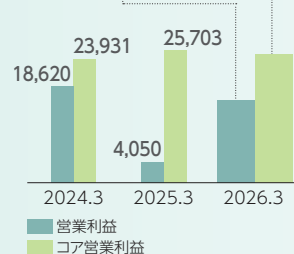
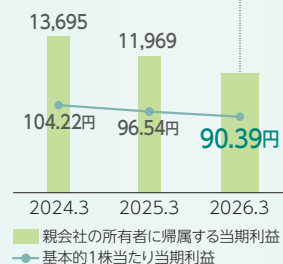
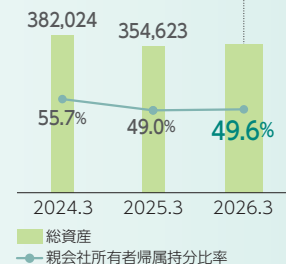
また、昨年以上の新製品発売を計画しており、売上並びに営業利益で過去最高を目指します。

4月1日付けで沢井製薬の代表取締役を始め、営業や研究開発の役員を刷新しました。新体制の元、着実な成長を目指してまいります。

決算ハイライト

単位:百万円

売上収益

201,676
(前期比 6.7% 増)営業利益
コア営業利益15,894 24,778
(前期比 292.5% 増) (前期比 3.6% 減)親会社の所有者に
帰属する当期利益/
基本的1株当たり当期利益10,438
(前期比 12.8% 減)総資産/
親会社所有者帰属
持分比率359,919
(前期比 5,296百万円 増)

決算のポイント

- 選定療養制度を追い風に、
売上高2,000億円を達成
- 2024年度の訴訟損失引当金の
影響が一巡し、営業利益は回復
- 2026年度は
新製品と2025年度発売製品が伸長し、
売上と営業利益で過去最高を目指す

Pick Up!

SAWAI Information

当社の成長に向けた取り組みや技術情報、
コミュニケーション活動などをお知らせします。

Topic 1

役員人事

信頼性向上と安定供給
体制の確立へ



私たちの理念である「真心をこめた医薬品を通じ、
人々の健やかな暮らしを実現する」にある「真心」を、
あらゆる判断の基盤に据え、社員一人ひとりの自律的
な行動を成長のエンジンとしてまいります。

沢井製薬株式会社 代表取締役社長 中手 利臣

ジェネリック医薬品の安定供給と品
質向上が強く求められるなか、サワイ
グループは今後も市場の期待に確実に
応えるべく、次世代への経営体制の移
行を進めています。

これまでの社内風土改革や生産体
制強化の道筋がつき、今後は製品の信
頼づくりになお一層力を注いでいく時
期と位置付け、経営陣の体制変更を行
いました。

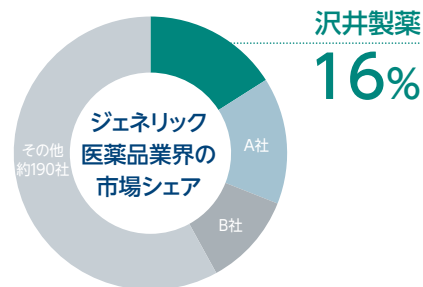
中核子会社である沢井製薬の新社
長には、指名・報酬等ガバナンス委員会
での活発な議論を経て、長年にわたり
同社の信頼性保証本部長を務めた中手
が就任いたしました。新社長のもと、こ
れまで築き上げた品質管理の仕組みを
さらに強固なものへと深化させ、安定
供給を通じて社会の信頼にこえてまい
ります。

また、グループ企業理念である「な
よりも健やかな暮らしのために」の継続
的な実現を通して、企業価値向上に邁
進してまいります。

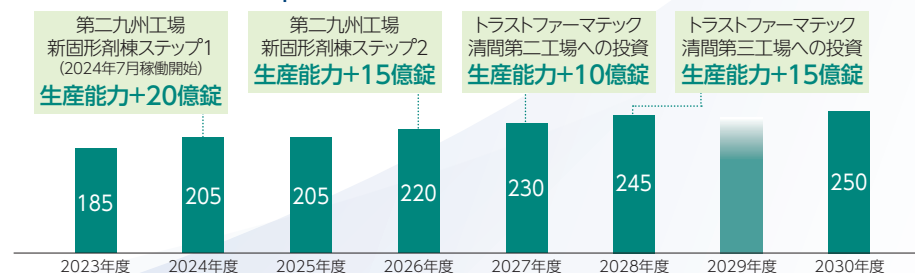
Topic 2

市場環境の変化

業界構造の転換期に
サワイが
果たすべき使命



長期ビジョン「Sawai Group Vision 2030」に向けた増産の取り組み



※生産能力の前提：現在の品目数について平日2交代で機械を稼働し続けた場合を想定。委託は含まない

毎年薬価改定による薬価下落とイン
フレによる製造コスト上昇という厳し
い外部環境が続くなか、日本に190社
余りあるジェネリック医薬品メーカーは
今後、集約が進んでいくと考えられて
います。一方、高齢化が進行している
日本において、ジェネリック医薬品の需
要は拡大が見込まれています。

この変革期において私たちはリー
ディングカンパニーの責任を果たすべ
く、生産能力強化と安定供給体制の確
立を推進しております。第二九州工場
の新棟稼働やトラストファーマテック社
の生産能力増強による設備面の強化に加
え、それを支える人財の育成・強化に注
力し、供給力を着実に高めています。

拡大する市場と他社の販売中止に伴う
代替需要を取り込み、現在シェア約16%
ほどのジェネリック医薬品市場において、
さらなる業容拡大を推進してまいります。

Topic 3

Innovation Meetupの開催

サワイが取り組む
デジタル・医療機器事業
の未来



サワイグループは、基幹事業であるジェネリック医薬品ビジネスで培った製剤技術を進化させるとともに、デジタルや医療機器など、ヘルスケアの新たな領域への取り組みを本格化させています。その進捗をお伝えする場として、2026年3月に自社イベント「Innovation Meetup」を開催しました。

当日はメディアや投資家の皆さまのほか、日頃からグループを支える従業員やそのご家族もお招きし、代表取締役会長によるサワイが目指すヘルスケアの未来像の紹介や、製剤研究部によ

るAI活用事例を紹介する講演を行いました。会場内では、グループが注力する「未病・予防」「診断」「治療」「回復・維持」の各領域における体験・展示ブースを設置。治療を補助するプログラム医療機器をはじめ、最先端のリハビリテーション機器や活動量計などの事業展開を実例を交えて紹介し、新たな可能性を実感いただきました。

このイベントは単なる事業紹介にとどまらず、次世代を担う研究者など多くの社員が主体的に関わり、組織の一体感を高め合える場となりました。



お役立ち情報

調査対象の5人に1人がAUDリスク層※の可能性?

沢井製薬では「アルコール使用症／アルコール使用障害(AUD)」に関する意識調査を行いました。

本調査では、調査対象の7割以上が「AUD」を知らないと回答する一方で、調査対象の5人に1人が「AUDリスク層※」である可能性が明らかになりました。

調査結果の詳細はこちらからご覧ください：「[アルコール使用症／アルコール使用障害\(AUD\)に関する意識調査](#)」

「AUD」はお酒を飲む習慣があれば誰にでも発症する可能性がありますが、進行性の疾患であることから早期治療が難しいと言われています。

当社では、正しい理解を広めるため、疾患啓発サイト「AUDアルコール相談室」を通じて知識や治療に関する情報を発信しています。

AUDアルコール相談室

「少しお酒が増えたかな?」と感じたら、ご自身やご家族の日々の習慣を見直すきっかけとして、ぜひ一度サイトを覗いてみてください。

詳細はこちらをご覧ください：<https://aud-sodan.jp/>



※WHO(世界保健機関)によって開発されたアルコール使用障害スクリーニングテストAUDIT(Alcohol Use Disorders Identification Test)を調査対象に実施し、AUDITの点数8点以上を「AUDリスク層」と分類した。